



あかしし しょうがい ひと ひと だれ す めざ
明石市では、障害のある人もない人も誰もが住みやすいまちづくりを目指す
とく
取り組みのひとつとして、手話を言語として認め、障害のある人のコミュニ
ケーション（話し合い）を促進する条例（市による取り決め）ができました。

あかしし じょうれい
明石市の条例には2つの内容が書かれています



じょうほう
情報
コミュニ
ケーション

1 しゅうわ げんご みと
手話を言語として認める

しゅうわ げんご
手話言語

しゅうわ とくじ げんご
手話が独自の言語であることを
みと うえ ほうほう
認めた上で、いろいろな方法
しゅうわ しゅうわ りかい ひろ
で手話と手話への理解を広め
ていきます。



2 いろいろな
コミュニケーションの支援

しゅうわ ようやくひっき てんじ おんやく しょうがい
手話や要約筆記、点字、音訳など、障害があ
る人に必要ないろいろなコミュニケーション
手段を選べるようにしていきます。また、そ
れぞれの支援者を育てて増やしていきます。

あかしし とく じょうれい
明石市が取り組んでいるコミュニケーション支援は次のページ

あかしし つぎ めざ
明石市はさらに次のステップを目指していきます

3 しょうがい ひと
障害のある人への
差別をなくす条例

へいせい ねん がつ せいてい
平成28年3月に制定
しました。

4 さべつ
差別をなくす
条例の見直し

じっしじょうきょう み
実施状況を見ながら、
より充実した内容にします。

5 しょうがい ひと じりつ
障害のある人の自立
と社会参加の実現



あかししとく 明石市が取り組んでいる

しょうがいひと 障害のある人へのコミュニケーション支援 しえん

しな い しょうがっこう 市内すべての小学校で しゅわきょうしつ かいさい 手話教室を開催

へいせい ねんど ねんど ねんかん しな い
平成27年度から 29年度の 3年間で、市内
ぜんしりつしょうがっこう こう ねんせい たいしょう
全市立小学校（28校）で、4年生を対象に
しゅわたいけんきょうしつ じっし しよねんど こう
手話体験教室を実施します。初年度は10校
で実施しました。地元の手話サークルに
きょうりょく しゅわつうやくしゃ しゃ
協力してもらい、手話通訳者とろう者が
こうしやく しゅわひょうげん
講師役となって、手話表現

だけでなく、ろう者
のことを理解して
もらえるよう内容
を工夫して行いま
した。



しゅわつうやくし しかくも 手話通訳士の資格を持った せい き しょくいん さいよう 正規職員の採用

コミュニケーション支援の推進など、市が
しょうがい ひと おこな と
障害のある人のために行ういろいろな取り
く じゅうじつ しゅわ
組みをさらに充実させるために、手話
つうやくし しかく ひと にんきつきせいき
通訳士の資格をもった人を、任期付正規
しょくいん さいよう しゅわつうやくし
職員として採用しました。手話通訳士とし
て、職員研修や小学校での手話教室などで
こうしやく つと しえんしゃ たちは
講師役を務めるのはもちろん、支援者の立場

から、障害のある人が
ひつよう
必要としていること
を市のコミュニケー
ション支援などの
せさくも こ
施策に盛り込んで
いきます。



しゅわけんてい かつよう 手話検定などを活用した しょくいん しゅわけんしゅう じっし 職員手話研修の実施

いま しょくいん む しゅわけんしゅう じっし
今までも職員向けの手話研修は実施してい
ましたが、より多くの職員が受講できるよ
う見直し、さらに希望する職員には手話
けんてい じゅこうりょう じよせい せいど
検定の受講料を助成する制度
を新しく作りました。ほか
にも、「職員のためのやさし
く学べる手話動画」を作成
するなど、職員が率先して
しゅわ み
手話を身につけられるよう
にしました。



し こうえんぎょうじ しゅわつうやくしゃ 市後援行事での手話通訳者・ ようやくひつきしゃ はいちひよう じよせい 要約筆記者配置費用の助成

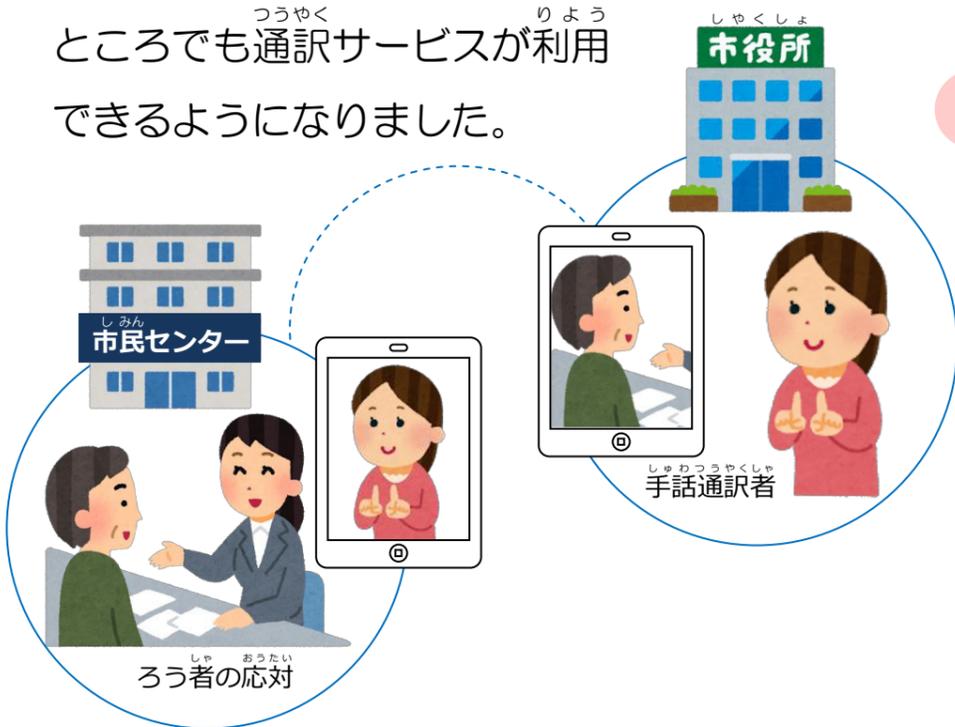
しみん こうえんかい ししゅさい ぎょうじ
市民フォーラムや講演会など、市主催の行事
に手話通訳者・要約筆記者を配置するのはも
ちろん、市が後援する行事に手話通訳者・
ようやくひつきしゃ はいち ばあい ひつよう ひよう
要約筆記者を配置する場合にも、必要な費用
はんがく じよせい せいど あら つく
の半額を助成する制度を新たに作りました。
しゅわつうやくしゃ ようやくひつきしゃ ほうしゅうきんがく みなお
手話通訳者・要約筆記者の報酬金額の見直
しを行うとともに、担い手としての手話通
やくしゃ ようやくひつきしゃ
訳者・要約筆記者
を育てて増やして
いくことにも力を
い と く
入れて取り組んで
いきます。



- 手話
- 要約筆記
- 点字
- 音訳
- その他の支援

タブレット端末を使った 遠隔手話通訳サービス

市役所と市民センターをタブレット端末の
テレビ電話でつないで、手話通訳者がいない
ところでも通訳サービスが利用
できるようになりました。



いろいろな表現による 情報の提供

手話言語・障害者コミュニケーション条例
について意見を募集したときは、説明書類に
ルビをふったものを用意したほか、点字や
音声による案内も用意しました。平成27年
4月に障害のある人への差別についての
事例を募集したときは、わかりやすい表現
による説明文書を用意しました。

わかりやすい表現の例

- 必要事項を
ご記入ください → ●必要なことを
書いてください
- 留意事項 → ●気をつけること
- 配慮 → ●人への気くばり



点字による市役所の情報発信

市役所から送る書類をすべて点字にするこ
とはできませんが、手紙につける説明文や送
った書類の内容、締め切りがあるかどうかなど、
特に伝えたい内容を選んで点字の送り
状を同封するようにします。
最近では、マイナンバーの
通知カードについても、
希望があれば点字シールで
対応することにしました。



施策推進協議会の開催

明石市手話言語等コミュニケーション施策
推進協議会を開いて、障害のある人や支援
する人からも広く意見をきいて、市役所が取
り組むことを決めていきます。障害のある
人への差別をなくす取り組み
についても、この協議会
でも話し合って、コミュ
ニケーション支援のいろ
いろな対応方法を決めて
いきます。



明石市は、障害のある人もない人もともに安心して暮らすまちづくりを目指しています。

あかしししょうがいひととく 明石市は障害のある人とともに取り組みます

ちょうかくしょうがいひとしゃしぎかいぎいんとうせん 聴覚に障害のある人（ろう者）が市議会議員に当選



へいせい
平成
ねん
27年
がつ
4月

へいせいねんがつじっしとういつちほうせんきょあかししぎかいぎいんせんきょ
平成27年4月に実施された統一地方選挙・明石市議会議員選挙において
うみみきしゃとうせん
生まれつき耳の聞こえないろう者が当選されました。
しぎかいぎじょうしゅわつうやくしゃはいちしゃ
市議会では、議場に手話通訳者を配置するなど、ろう者と
ぎかいうんえいうえひつようじょうほう
ともに議会を運営していく上で必要な情報・コミュニケー
ほしやうおこなしよさんそちおこな
ション保障を行っています。また、市でも予算措置を行う
ひつようかんきやうせいびおこな
など、必要な環境整備を行っています。



しょうがいひとしえんとうろん 障害のある人へのコミュニケーション支援について討論

ししゅざいじんけんけいはつしょうがい
市が主催する人権啓発イベント「あかしヒューマンフェスタ」において、障害のあ
ひと
る人へのコミュニケーション支援をテーマとしたパネルディスカッションを行いま
しょうがいひとひと
した。障害がある人となない人がコミュニケーションを
あかししじやうれいしょうがい
とることもたくさんあります。明石市の条例が障害の
ひとひとかんけいじやうれい
ある人だけでなく、すべての人に関係する条例であるこ
かくにんきかい
とをあらためて確認する機会になりました。



へいせい
平成
ねん
27年
がつ
11月

ちょうかくしょうがいひとひなんくんれんじっし 聴覚に障害のある人たちと避難訓練を実施

へいせい
平成
ねん
28年
がつ
1月

ちょうかくしょうがいひとさいがいときこうどうかくにん
聴覚に障害がある人とともに、災害の時の行動を確認し、どのようにコミュニケー
さんかしゃかんがないうひなんくんれんじっしさんかしゃ
ションをとるかを参加者に考えてもらう内容の避難訓練を実施しました。参加者は
しゅわつうやくしゃようやくひつきしゃつうじやうきやうつた
手話通訳者や要約筆記者を通じて状況を伝えるほか、ノートに状況を書いて示し
かんたんしゅわひやうげんましいっしょひなん
たり、簡単な手話表現なども交えながら一緒に避難し
こいっしょくんれんひかえさいがいとき
ました。その後、一緒に訓練を振り返り、災害の時に
たいおういけんこうかんおこな
どう対応するべきかなど、意見交換を行いました。
こんごじっしほうほうしょうがいひといっしょ
今後の実施方法についても、障害のある人と一緒に
かんがすす
考えながら進めていきます。



とあ
お問い合わせ

あかししふくしふふくしそむかしょうがいしゃせさくたんとう
明石市福祉部 福祉総務課 障害者施策担当
でんわ
電話078-918-5142 ファックス078-918-5133
メール hukushi@city.akashi.lg.jp